

製剤機械技術学会会員各位

日本薬学会第 144 回年会 一般シンポジウム S55 世話人
熊本大学大学院生命科学研究部 岩崎竜之

日本薬学会第 144 回年会／一般シンポジウム S55

「リニア搬送技術を活用した近未来工場の実現」

医薬品に限らず、食品・化粧品・パーソナルケア用品など、製造のトレンドは大量生産から多品種少量生産へとフレキシブルな方向に転換しつつあります。また、限られた作業スペースで柔軟な生産を実現するためには、従来のベルト・チェーン搬送では限界があり、更なる技術発展が期待されます。

欧州では、十年程前から革新的なリニア搬送技術が開発され、今後は主流として検討されるまでになっています。一方、国内での本技術開発は黎明期に当たり、先駆的企業での導入・実生産が開始された段階にあります。

本シンポジウムでは、リニア技術の製造現場への適用を積極的に推進中の製造メーカー、包装機械メーカー、そしてリニア技術基板メーカーらと連携し、本技術を用いた生産ライン設計、応用等方針・生産実績・今後の課題に関する情報の共有と意見交換、ならびに関係者の知見を広げる場にしたいと考えます。皆様のご参加をお待ちしております。

記

1. 日 時：令和 6 年 3 月 31 日（日）09：45～11：45

2. 開催方法／場所：対面形式／パシフィコ横浜会議センター 304 会場

[144 年会施設・会場のご案内 \(atlas.jp\)](#)

3. プログラム（演者敬称略）

09:45～09:50	開会の挨拶	熊本大学大学院生命科学研究部 岩崎 竜之
09:50～10:00	医薬品製造におけるリニア搬送技術活用によるパラダイムシフトについて	熊本大学大学院生命科学研究部・東京大学新世代感染症センター 菊池 正彦
10:00～10:20	S1) 国内外におけるリニアシステムの先行活用事例紹介	B&R 株式会社 小野 雅史
10:20～10:40	S2) リニアシステムの活用による次世代包装ライン	株式会社京都製作所 今井 智之
10:40～11:00	S3) 装置メーカーから見たリニア搬送技術の活用事例	株式会社ウイスト 和田 晃輔
11:00～11:40	総合討論 モデレーター パネリスト	菊池 正彦 一般社団法人 製剤機械技術学会 米持 悦生 第一三共株式会社 工藤 正人 中外製薬工業株式会社 保坂 英明 花王株式会社 町田 芳信
11:40～11:45	閉会の挨拶	熊本大学大学院生命科学研究部 入江 徹美

4. 参加申込：日本薬学会非会員【1 day pass／¥8,000】をご利用いただけます。

[日本薬学会第 144 年会（横浜）/参加申込 \(atlas.jp\)](#)

【問い合わせ先】

■熊本大学大学院生命科学研究部グローバル天然物科学研究センター 医薬品包装学寄附講座
〒862-0973 熊本市中央区大江本町 5-1
岩崎 竜之 TEL・FAX 096-371-4858 , E-mail: t-iwasaki@kumamoto-u.ac.jp